



TITLE:

歐米ニ於ケル労働組合ノ近況

AUTHOR(S):

山本, 美越乃

CITATION:

山本, 美越乃. 歐米ニ於ケル労働組合ノ近況. 經濟論叢 1917, 4(4): 604-609

ISSUE DATE:

1917-04-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127186>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號四第 卷四第

行發日一月四年六正大

論說

Unto this Lastヲ讀ム(一).....法學博士 河上 肇

官業問題ニ就キテ(三)完.....法學博士 神戸 正雄

我取引所擔保業務ト保險事業トノ差異.....法學士 小島昌太郎

太閤檢地ノ研究.....法學士 牧野新之助

參觀交代制度ノ經濟觀(二).....法學士 本庄榮治郎

時事問題

支那ノ立國策ト其參戰問題.....法學博士 戸田 海市

對印爲替問題.....法學博士 神戸 正雄

雜錄

世界金融ノ中心トシテ倫敦ノ地位.....法學博士 神戸 正雄

續市統計所小觀.....法學博士 財部 靜治

歐米ニ於ケル勞働組合ノ近況.....法學士 山本美越乃

長野縣ノ蠶絲業.....法學士 河田 嗣郎

歐米ニ於ケル勞働組合ノ近況

山本美越乃

近世ノ産業社會ニ於ケル勞働組合ノ必要及其ノ存立ノ意義ニ關シテハ、嘗テ京都法學會雜誌第五卷第二號(拙稿勞働組合論)ニ於テ論述シタルヲ以テ、茲ニハ單ニ吾人ノ接手セル最近ノ資料中ヨリ、歐米ニ於ケル勞働組合ノ概況ニ關シテ紹介スルニ止メントス。

勞働階級ノ經濟上及社會上ニ於ケル地位ヲ改善スルト共ニ、又業主ニ對シテ彼等ノ當然主張シ得ベキ權利ヲ擁護セントスル目的ヲ以テ組織セラレタル現今ノ所謂勞働組合ハ、第十八世紀中ニ英國ニ於テ初メテ發達シ、爾來工場制度ノ普及ト共ニ各國ニ傳播シテ今日ノ盛況ヲ見ルニ至レルモノナリト雖ドモ、其ノ發生地タル英國ニ於ケル組合ト歐洲大陸ニ於ケル組合トハ互ニ異ナレル特質ヲ有セリ、即チ英國ノ勞働組合ハ主トシテ經濟上及社會上ノ目的ヲ達センガ爲メニ組織セラレタルモノナルニ反シ、歐洲大陸ノ勞働組合ハ寧ロ政治上ノ目的ヲ達センガ爲メニ組織セラレタルガ如キ感アリ、從テ勞働階級ノ

經濟上及社會上ニ於ケル地位ノ改善ニ關スル組合運動ノ成績ハ、歐洲大陸ニ於テハ英國ニ及バザルコト遙カナリト雖ドモ、勞働者間ニ政治的ノ自覺心ヲ喚起セシメ、彼等ヲシテ一國ノ政治ニ參與シ得ベキ一種ノ潛勢力ヲ養成セシメタル點ニ於テハ、英國ノ組合ハ歐洲大陸ノモノニ比肩スルヲ得ズ。

次ニ又其ノ組織ニ關シテモ、一般的ニ之ヲ論ズル時ハ、英國ノ組合ハ成ルベク同種ノ業務ニ従事セル勞働者ヲ糾合シテ、鞏固ナル團體ヲ組織センコトニ努ムルノ風アルモ、他ノ諸國ニ於テハ其ノ業務ノ種類ヲ問ハズ、廣ク勞働階級ヲ網羅セル團體ヲ形造ラントスルノ傾キアルヨリ、組合員相互ノ内部の關係ニ於テ自ラ薄弱ナル點アルヲ免レズ。

勞働組合ガ其ノ目的ヲ達スル手段トシテ採用スル所ノ方法ハ、(一)組合員各自ノ相互救済(例之疾病・老癯・死亡・失職等ノ場合ニ於ケル自助の救済制度ノ如シ)及訓練、(二)團體的勞働契約ノ締結ニ依ル勞働條件ノ改善、(三)立法上及行

政上ニ勞働階級ノ利益ヲ確保セシメンガ爲メニ輿論ヲ喚起スルコト等ニ存スルモ、英國ノ勞働組合ハ就中(一)及(二)ニ重キヲ置キ、歐洲大陸ノモノハ(二)及(三)ヲ重要視セントスル點ニ於テ、又互ニ其ノ特色ヲ示シツツアリ。

英國ニ於テハ前世紀ノ初メニ至ル迄ハ賃金ノ増加又ハ勞時ノ短縮ヲ目的トセル勞働者ノ團結的ノ行動ハ、國法上明カニ之ヲ禁止シ、又普通法上ニ於テモ共謀犯トシテ之ヲ取扱ヒシガ、前世紀ノ初メニ至リ國會ハ斯カル禁止ノ正當ノ理由ヲ有セザルト共ニ、到底之ガ強行ヲ期ス可カラザルコトヲ覺リ、終ニ一八二四年乃至二五二年ニ亘リテ該禁令ヲ廢止スルノ止ムナキニ至レリ、然レドモ普通法ノ適用ヲ司ドレル裁判所ノ意見トシテハ、尙ホ此ノ種ノ團結的ノ行動ヲ認メザリシヲ以テ、勞働組合ハ一時其ノ法律上ノ存立ニ關シテ、疑問ノ焦點トナリシト雖ドモ、一八七一年及同七六年ノ勞働組合法(Trade Union Acts)及一八七五年ノ共謀及財産保護法(Conspiracy and Protection of Property Act)ノ

發布ニ依リ、初メテ勞働組合ノ存立ヲ法律上明カニ認メラルルニ至レリ、是等ノ法規ニ於テハ、將來若シ一個人トシテ單獨のニ之ヲ爲シタル場合ニ有罪ト認ム可カラザル勞働上ノ爭議ニ關スル行爲ハ、之ヲ單ニ個人ノ團體ニ依リテ爲シタルノ故ヲ以テ所罰スルヲ得ズトノ根本原則ヲ定メ、明カニ勞働組合ノ團結の行動ヲ認メタルノミナラズ、更ニ組合ノ登錄及其ノ財産ノ保護ニ關スル規定ヲモ之ヲ設クルニ至リシカバ、爾來英國ノ勞働組合ハ長足ノ進歩發展ヲ遂グルコトヲ得タリ。

●米國ニ於テモ亦前世紀ノ初期以來各地ニ勞働組合ノ設立ヲ見ルニ至リタリト雖ドモ、當時ノ組合ハ多クハ一時的ノ團體ニ過ギザリシガ一、八五〇年代ヨリ多少永續の性質ヲ有スル組合組織セラレタルモ、一八七三年乃至七九年ノ經濟上ノ大恐慌ニ際シ多數ハ解散ノ運命ニ遭遇シタルヲ以テ、現今ノ勞働組合ノ多クハ其ノ後ノ發達ニ係ルモノタリ。米國ノ勞働組合ハ英國ニ於ケルモノトハ趣ヲ異ニシ、最初ヨリ法律上ノ制

限ヲ受ケタルコト甚ダ稀ニシテ、賃金ノ増加又ハ勞時ノ短縮ヲ目的トスル同盟罷業ノ如キハ通常之ヲ不法ノ行爲ト看做サズ、故ニ一般のニ之ヲ論ズル時ハ、米國ノ立法部ノ勞働組合ニ對スル態度ハ頗ル寛大ナリト言フヲ得ベシ、唯勞働上ノ諸般ノ問題ノ解決ハ之ヲ各州ノ法律ニ委ネツツアルヨリ、時ト所トニ應ジテ其ノ取扱ヲ二三ニスルコトアルハ一缺點ト稱セザルヲ得ズ。

●獨逸ニ於テハ或ハ法律ニ依リ或ハ行政上ノ命令ニ依リテ多年結社ノ自由ヲ拘束シタルト、勞働者ノ團體の運動ハ主トシテ社會民主黨ノ指導ノ下ニ置カレタルヨリ著シク政治的ノ色彩ヲ帶ビ、英國ニ於ケルカ如キ純然タル經濟上ノ目的ヲ有セル勞働組合ノ發達ハ極メテ遲緩ノ狀態ニ存シタリ、從テ自助自救ノ精神ヲ以テ根本主義トナシ、自ラ内部的ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルコトニ依リテ其ノ經濟上及社會上ニ於ケル地位ヲ改善セントスル英國式ノ勞働組合ノ組織ヲ見ルニ至レルハ、前世紀ノ中葉以後ノコトニ屬シ、即チ一八六八年ニひるし (Max Hirsch) ・アムン

ける (Franz Duncker) 二氏ニ依リテ創設セラレタル、所謂ひるしゅう・どうんける労働組合ヲ以テ嚆矢トナス、該組合ハ全然社會民主主義的ノ運動ヲ排斥シテ、其ノ範ヲ英國ノ労働組合ニ探リタルモノナリ、其ノ後近時ニ至リテハ労働組合ニ更ニ宗教的ノ分子ヲ容レ、所謂基督教の労働組合ト稱セララルモノモ亦漸次各地ニ組織セララルニ至レリ。

●佛國ニ於テモ前世紀ノ末葉即チ一八八四年ニ至ル迄ハ、法律ハ結社禁止ノ主義ヲ探リタルヲ以テ、労働組合の運動ノ如キモ大ニ其ノ活動ノ自由ヲ妨ゲラレシガ、同年三月ノ法律ニ依リテ從來ノ主義ヲ改メ、且労働組合ノ組織ニ關シテモ取締上必要ナル一二ノ制限ヲ除クノ外ハ、原則トシテハ之ヲ自由ニ委ヌルノ方針ヲ探レ

リ、尤モ同年以前ニ在リテモ労働者間ニ労働組合的ノ組織全ク存セザリシニ非スト雖ドモ、其ノ勢力ハ極メテ微弱ナリシガ、同年以降次第ニ有力ナル機關トシテ存在ヲ認メラレ、殊ニ今世紀ニ入リテヨリハ其ノ運動往々急進過激ノ弊ニ陥ラントスルノ傾向アリ。

以上要述セルガ如キ發達ノ徑路ヲ有セル各國ノ労働組合ハ、一般産業社會ノ進歩ト共ニ益々發展ヲ遂ゲ、吾人ノ利用シ得ベキ最近ノ資料ニ據レバ、其ノ組合員ノ數ニ於テモ亦組合ノ支出金額ニ於テモ、左表ニ示スガ如キ驚ク可キ發達ヲ成シツツアリ。

(註) 左表ハ何ハフ Monthly Review of the U. S. Bureau of Labor Statistics, Vol. II, No. 5, pp. 82-83, 1916. ニ據ル。

(第一表) 労働組合員數

國名	一九一二年		一九一三年		一九一四年	
	組合員總數	女子組合員數	組合員總數	女子組合員數	組合員總數	女子組合員數
英國	1,111,000	38,600	2,261,100	107,700	3,999,800	252,900
獨逸	875,000	11,600	1,140,000	25,000	—	—
米國	11,600	—	23,500	—	—	—

雜錄 歐米ニ於ケル労働組合ノ近況

佛蘭西	1,031,062元	28,700人	1,018,710人	62,782張	—	—
伊太利	92,122元	—	—	—	—	—
煥太利	62,226元	6,920西	38,870	33,453張	33,453張	—
白耳義	33,126元	—	—	10,174張	6,602	—
和蘭	18,700	1,820張	10,717張	—	—	—
丁抹	18,010	1,520張	12,727張	未詳	1,520張	—
瑞典	1,110,000	1,240人	—	—	—	—
瑞典	62,010	—	—	—	—	—
諾威	20,725	—	—	—	—	—
諸洲	42,222元	10,710	—	—	—	—
瀛洲	—	—	—	—	—	—
にゆーぢーらんど	62,222元	—	—	—	—	—

(第二表) 勞働組合ノ支出額 單位ハ弗ヲ以テ計算セラル (一九二二年度)

國名	失職看護及旅行費	疾病老廢、死亡及其他相互救濟費	同盟罷業及解雇費	事務費・印刷費・圖書費・其他雜費	合計
英國	二,081,767	英鎊 7,316,161	英鎊 2,222,222	英鎊 1,848,215	一八,四六八,365
獨逸	二,212,872	二,212,872	同上	同上	一〇,八四七,222
米國	三,二五八,672	二,000,000	未詳	同上	二,七〇〇,〇〇〇
埃太利	四,019,966	五,252,660	六,八七六,八七六	一,八七六,八七六	二〇,九二六,378
丁抹	四,111,272	四,四四四,四四四	六,八七六,八七六	二,二二二,二二二	一五,〇五四,八14
瑞典	五,230,000	一,五七六,741	一,八八八,八八八	六,六六六,六六六	一五,三六二,295
諾威	三,三三三,333	一,五七六,741	一,八八八,八八八	六,六六六,六六六	一三,四六五,628
和蘭	三,三三三,333	四,〇〇〇,〇〇〇	六,六六六,六六六	一,六六六,六六六	一五,六六六,666
瑞西	二,〇〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇,〇〇〇	六,六六六,六六六	一〇,八八八,八八八	二五,五五五,555

自覺心無キ勞働者ハ毫モ機械ト擇ム所ナク、
業主ガ彼等ヲ機械視シテ願ミザルハ畢竟彼等自
ラ覺醒セザルノ罪ニ出ヅ、然カモ勞働階級ノ覺

醒ハ互ニ團結シテ其ノ經濟上及社會上ニ於ケル地位ノ改善ヲ計ルヲ以テ第一歩トナスガ故ニ、健實ナル勞働組合ノ組織ハ實ニ勞働階級ニ生命

ノ源泉ヲ與フルモノト言フヲ得ベシ、是レ吾人
が常ニ我が國ノ勞働者間ニモ亦斯カル組織ヲ一
日モ速カニ普及セシムルノ必要アルコトヲ提言
シテ止マザル所以也。